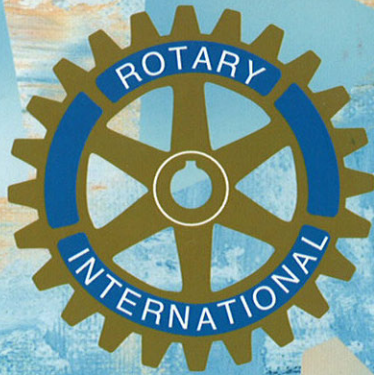


50

年の歩み

1953～2003



2003年6月

いわき平ロータリークラブ

50

年の歩み

1953~2003





キューピット像（いわき市民会館前） 1954年のRI50周年記念事業として平市復興道路（現駅前大通り）のロータリーに建設（1957年）。交通事情のため市民会館前に移設（1965年）現在に至る。



植樹 21世紀を記念して（平一丁目開発ビル前）2001.6.21



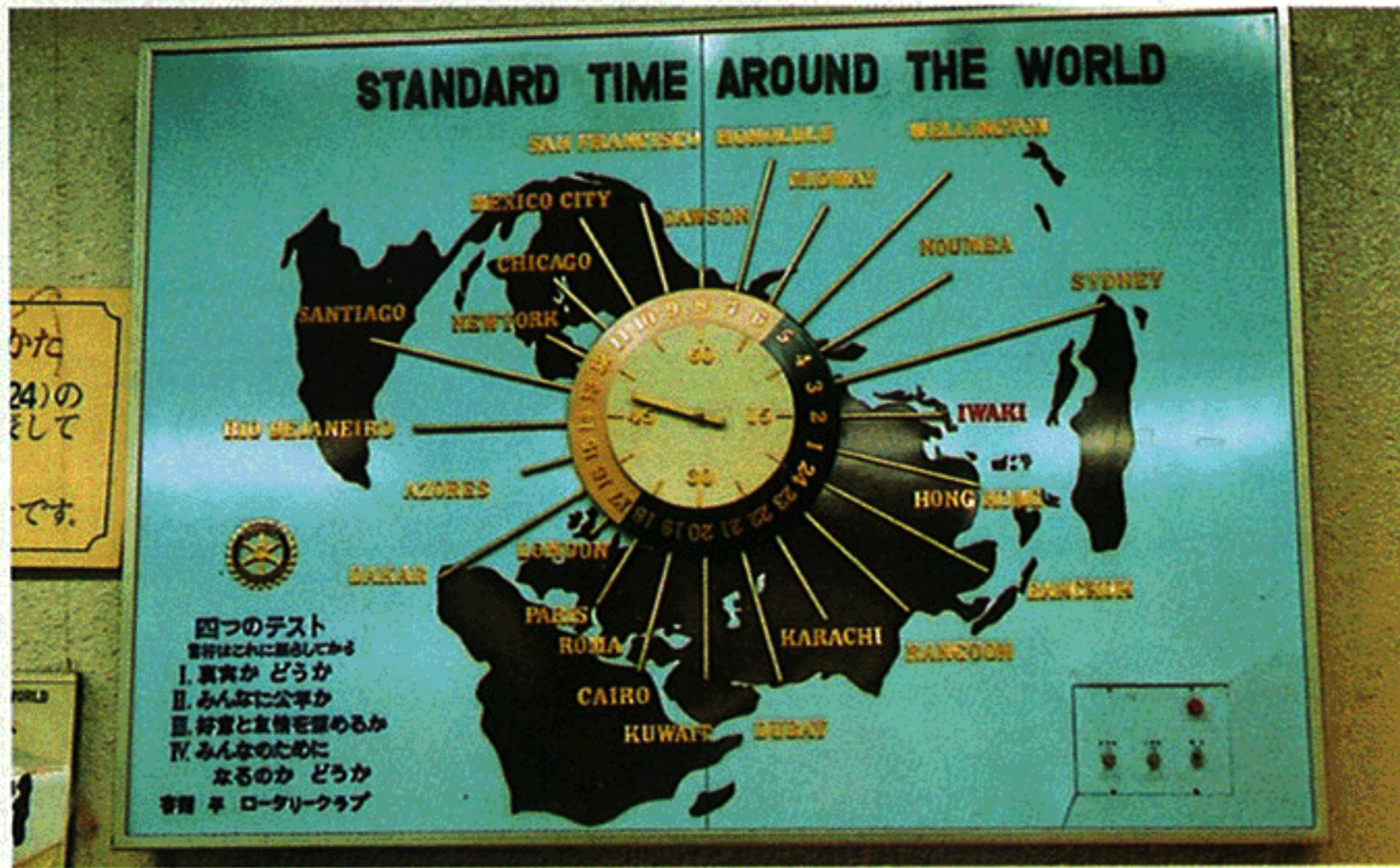
美術図書を市立美術館に 1984.4.26



21世紀の森公園にモニュメント「希望」1997.3



いわき市で開かれた地区大会を記念して植樹と記念碑 1972.10.3



「世界の時計」を市に寄贈
(市役所正面ロビー)
1972.10.3



第4回目のバナー



第5回目のバナー



いわき平ロータリークラブ創立40周年(1993年6月19日)

50

年の歩み

1953~2003



ご挨拶

いわき平ロータリークラブ会長 勝田 博志

いわき平ロータリークラブは、本年6月をもって創立50周年を迎える事ができました。当クラブは、東京・郡山両クラブのご尽力により、1953年（昭和28年）6月29日にR I本部よりの公式承認をうけ、浜通り地区では初めてのロータリークラブとして誕生いたしました。

1953年といえば、日本がようやく戦後の混乱の中から立ち上がり始めたとはいえ、国民総生産をみても、先進国の仲間入りするには程遠い、復興半ばの頃でした。

この様な時代背景の中で、当クラブをたちあげた諸橋久太郎初代会長はじめ先人の皆様の御努力に、心から敬意を表したいと思えます。チャーターメンバー25名でのスタートでしたが、以来半世紀、現在は会員数71名という確固たるクラブに成長する事ができました。その間、当クラブから、ガバナーとして飯島隆俊会員・加藤武久会員・吉田仁会員が選出され、年次大会を3回開催する事ができました。また、いわき地区では唯一のローターアクトクラブも結成、さらに浜通り地区のスポンサークラブとして、近隣のロータリークラブの設立に努力してまいりました。これらの事を為し得た当クラブの諸先輩各位の、ロータリーに対する強い情熱と行動力を、私共もしっかりと受けとめ、次の世代に引き継いでいく責任を強く感じております。

21世紀に入り、日本を取り巻く世界情勢も大きく変わりました。冷戦時代は終わりましたが、人種・宗教・文化の違いや、貧富の差から生じる新たな紛争がおきております。国内的にもバブル崩壊後、疲弊した経済、国・地方財政の悪化、年金・健康保険の問題等、難問が山積しております。この様な社会情勢の中で、ロータリーク

ラブの存在する意義が今ほど問われる時代はないと思います。

この様な時代だからこそ、私たちロータリークラブは、世界平和と国際親善に力を注ぎ、地域の人達と力を合わせ、超我の奉仕に取り組んでいかなければなりません。

2002～2003年度ビチャイ・ラタクル国際ロータリー会長は、メッセージの中で次の様な事を述べられています。

「まさしく、ただ今現在、ロータリーの名において数えきれないほど沢山の活動が行われています。ただ、たとえ私たちが何をするにしても、それはロータリーにおける最善の親睦・奉仕は、常に愛の真心から出たものだという事です」

いわき平ロータリークラブ50周年記念事業については、全会員賛同のもとで次の様に決定しました。

1. 国際ロータリー第2580地区プログラム、対人地雷除去活動を支援し、資金援助を行う。

(カンボジアロータリークリアーランド・プロジェクト)

2. 平成19年完成予定の、次世代システム市立図書館に対する寄附。
3. 市指定有形文化財、磐城平城下絵図【寛政元年（1789）】パネルの贈呈。
4. DV（ドメスティック・バイオレンス）被害者を支援する「いわきふれあいサポート」を支援し、資金援助を行う。

これらの事業を通じて、地域社会の人々とのつながりを深め、世界平和と国際親善に力を注いでいきたいと考えております。

当クラブも50周年を契機に、先人の方々に築きあげていただいた歴史を伝統を重んじ、21世紀のロータリークラブをめざして、努力していきたいと考えておりますので、皆様方の御指導と御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、50周年記念誌の編集に際し、清水俊政記念誌部会長を始め、部会員の皆様の御苦勞に謝意を表し、ご挨拶と致します。



「創立50周年記念誌」の発刊に当って

いわき平RC創立50周年記念実行委員会
実行委員長 佐々木 芳 弘

私たちのクラブは、1953年（昭和28年）の誕生です。昭和28年といえば、ようやく戦後の経済復興が軌道にのりはじめたところで、例の吉田ワンマン首相の「バカ野郎解散」があったり、3年あまり続いていた朝鮮動乱もやっと終結して、休戦協定が結ばれた年でもありました。当地方にあっては、まだまだ石炭産業や海洋漁業が好景気の波にのっており、地域経済の牽引車として羽振りをきかせておった時代でした。

それより少し前、郡山クラブからの熱心なお誘いもあり、町の有志たちを中心とした旦那衆たちが、お互いに声をかけ合い、それじゃロータリーというのを作ろうかという話がまとまり、ようやく結成の運びになったといえます。やがて、25名のチャーターメンバーによる仮クラブの発会式も盛大に終えることができ、クラブ運営もレールに乗ろうかとしていた年の暮、初めてのガバナー公式訪問があったのです。

大体ガバナー公式訪問それ自体が初体験だったせいもあり、当時すでに「ガバナー月信」は事務局に来てたらしいのですが、あいにく誰もそれを見た者がなく、加えてクラブの会長は現職の市長、幹事も市議会議員、その他にも何人かの市議会議員の会員がおり、おまけに当日は12月市議会の開催日ときていたんでは、それこそどうしようもなかったんでしょう。

その日、予定通りの時間に平駅に到着された宮脇ガバナーは、迎える人間が一人もいないのには、さぞかしビックリなさったことで

しょう。何しろこんなことは、まさに前代未聞だったでしょうから。そうはいっても、この逸話、すでに半世紀を経た今日では、クラブ創立時代の苦々しくも懐かしい思い出として、語り草となっております。おかげでその後しばらくは、どこへ行っても「平クラブってのは、途方もない野人クラブなんだって」と囁かれていたとか、聞いておりました。そんなことがあった翌年の5月、晴れてチャーターの伝達式を迎えた日には、さすがに前年の失態に懲りていたので、ときの会員33名、こぞって準備万端怠りなく、それは堂々たる、格調の高い式典を挙げる事が出来たそうです。

その後、クラブ運営も順調な進展を見せていたところ、今度はガバナーより、新クラブ結成の要請があり、それではと近隣3市の有志に働きかけ、それぞれ特別代表を立てて結成の機運を盛りあげ、前後して3つの新しいクラブの誕生を見ることができたのです。さらに、以後本県の浜通り地区だけでも、9つの新クラブの結成にスポンサーをすることができました。

一方、これまで当クラブでは、3人のガバナーを選出してまいりました。それらの先達は、すでに皆さん故人になってしまいましたが、地区大会を始め多くの地区行事を主管してきたことは、クラブにとっても大きな遺産であり、メンバーたちにも、貴重な体験として残っております。

数年前、クラブ創立50周年へ向けて、記念事業実行委員会が組織されました。本日皆さまにお届けするこの「記念誌」は、実行委員会の記念誌部会が、清水部会長を中心として、数年前から念入りに想をねられ、チームワークよろしく、文字通り精魂をこめて作られた労作でございます。

ロータリアンの皆さん、ご高覧を頂ければ幸甚のいたりです。

目次

写真グラフ

ご挨拶……………いわき平ロータリークラブ会長 勝田博志

「創立50周年記念誌」の発刊に当たって

……………いわき平R\C創立50周年記念実行委員会 実行委員長 佐々木芳弘

第1章 クラブの歴史〈概要〉 1年～30年 ……………	1
第1代～10代の概況……………	2
第11代～20代の概況……………	6
第21代～30代の概況……………	10
第2章 ガバナー・分区代理 ……………	15
第353地区ガバナー〈飯島隆俊 PG〉飯島さんのこと……………	16
第253地区ガバナー〈加藤武久 PG〉加藤さんのこと……………	17
第253地区ガバナー〈吉田 仁 PG〉吉田さんのこと……………	18
第253いわき分区代理〈鈴木喬二 元分区代理〉楽しみながら学ぶ……………	19
第253いわき分区代理〈坂本行蔵 元分区代理〉視点を高めよう……………	20
第253いわき分区代理〈有賀敬四郎 元分区代理〉3つの思いで……………	21
第3章 31年からの歩み 31年～50年 ……………	23
1983～1984年度 友情の支え 第31代会長 鈴木喬二……………	24
1984～1985年度 親睦・団結をめざし 第32代会長 酒井睦雄……………	26
1985～1986年度 伝統を守り活性化計る 第33代会長 山崎慶一……………	28
1986～1987年度 二つの目標 第34代会長 清水俊政……………	30
1987～1988年度 奉仕の理想にもえて 第35代会長 吉村昭三……………	32
1988～1989年度 大きなプロジェクト推進の年 第36代会長 鷲佳弘……………	34
1989～1990年度 “ロータリーを楽しもう” 第37代会長 大久保泰祐……………	36
1990～1991年度 思いを尽し、熱意を尽し 第38代会長 伊藤昭一……………	38
1991～1992年度 新しい視点への転換 第39代会長 猪狩武久……………	40
1992～1993年度 身近なことからの実践 第40代会長 神部稔道……………	42
1993～1994年度 信念は行動に 第41代会長 松崎倫久……………	44

1994～1995年度	友達になろう	第42代会長	長内嘉文	46
1995～1996年度	特別な挑戦	第43代会長	馬目佳彦	48
1996～1997年度	会長時代をふりかえって	第44代会長	有賀敬四郎	50
1997～1998年度	会長所信	第45代会長	加藤貞夫	52
1998～1999年度	この一年間を顧みて	第46代会長	鈴木弘長	54
1999～2000年度	楽しかった3分間スピーチ	第47代会長	黒須幸雄	56
2000～2001年度	21世紀の幕開け	第48代会長	新妻純男	58
2001～2002年度	この1年間を顧みて	第49代会長	松崎俊昌	60
2002～2003年度	50周年の節目に	第50代会長	勝田博志	62

第4章 クラブの様々な活動

各種委員会の活動	66
プログラム実施表	90
会員数の推移	112
主な行事・記録	113
会場変更	114
記念事業	114
スポンサーをしたクラブ	115
入退会記録	115
奨学生	117
見舞金、義援金	117

第5章 資料編

いわき平ロータリークラブの50年〈年表〉	121
会員名簿	139
いわき平RC 創立50周年記念実行委員会	147
あとがき	148